



2016年1月14日

アウディ ジャパン株式会社
プレス問い合わせ 03-5475-6309
<http://www.audi-press.info/>

お客様問い合わせ 0120-598-106
アウディコミュニケーション センター

新型 Audi Q7

- ・ 安全で快適な走行をサポートする先進のアシスタンスシステム
- ・ 軽量ボディと高効率な TFSI エンジンの相乗効果でクラストップレベルの燃費効率を実現
- ・ 最新世代のアウディ MMI と Audi パーチャルコックピットがもたらす新次元の操作性

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）は、プレミアム SUV、新型 Audi Q7 を 3 月下旬より全国の正規ディーラーを（118 店舗、現時点）を通じて販売開始します。

Audi Q7 は、最大 7 人乗りの広いキャビンを備えた上質で多目的に使えるプレミアム SUV で、日本では 2006 年にデビューした初代モデルは、時代を先取りしたスポーティでスタイリッシュな SUV として世界各国で人気を博しました。今回初のフルモデルチェンジを経て登場したこの 2 代目モデルは、初代と比較すると車両重量が最大 300kg 削減されており、同時に Cd 値も最高 0.31（アダプティブエアサスペンション装着車で高速走行中車高が下がった状態）を達成するなど、走行抵抗を大幅に減らして、運動性能、燃費効率を改善しています。加えて、プレミアム SUV らしい堂々とした佇まい、ボディ外寸を若干縮小しながらもより広く快適になった室内、安全面でのサポートを提供する各種アシスタンスシステム、およびフルデジタルメーターの Audi パーチャルコックピット、大型タッチパッドを備えた最新世代のアウディ MMI、各社スマートフォンとの接続を可能にした Audi connect といった先進装備やテクノロジーにより、新型 Audi Q7 のドライバーと乗員は、SUV における現代最高の贅沢と歓びを体験していたくことになるでしょう。

Audi Q7 の簡略な諸元は以下の通りです。

モデル	エンジン	トランスミッション	最高出力／最大トルク	ステアリング	車両本体価格 (税込)
Audi Q7 2.0 TFSI quattro	2.0ℓ 直列 4 気筒 DOHC ターボチャージャー	8 速 ティプトロニック	252PS／ 370Nm	右	8,040,000 円
Audi Q7 3.0 TFSI quattro	3.0ℓ V 型 6 気筒 DOHC スーパーチャージャー	8 速 ティプトロニック	333PS／ 440Nm	右	9,290,000 円

■新型 Audi Q7 の概要

コンパクトになったボディと拡大された居住スペース

ボディサイズは、初代 Audi Q7 と比べると、全長が若干短くなり、全幅も狭くなりました。その一方で、室内長は大きくなって、キャビンの居住性は改善されています。とりわけ、オプションの 7 シーターパッケージで提供される独立式の 3 列目シートは、ヘッドルーム、ショルダールームともにかなり広くなっています。

堂々たるエクステリアとスポーティで軽快感あるインテリア

筋肉質で力強さが感じられる新しいエクステリアデザインにより、Audi Q シリーズのトップモデルにふさわしい堂々たる佇まいが実現しています。一方、センターコンソールから独立したインストルメントパネルが備わるインテリアでは、プレミアム SUV としてのエクスクルーシブな上質感とともに、視覚的な軽快感、スポーティ感が強調されています。

高効率な 2 つのガソリンエンジン：2.0 TFSI と 3.0 TFSI

エンジンは 2 タイプの TFSI（過給器付き直噴ガソリン）エンジンを用意。そのうち Audi Q7 シリーズでは初の 4 気筒ユニットの 2.0 TFSI は、大胆に軽量化された車両重量に対し 185kW（252PS）/ 370Nm の出力／トルクは十分です。もうひとつの 245kW（333PS）/ 440Nm を発揮する 3.0ℓ V 型 6 気筒を搭載する 3.0 TFSI も、新型 Audi Q7 を 0-100km/h 6.1 秒*で加速させる卓越したダイナミック性能と、クラストップレベルの燃費効率を両立しました。（燃費効率の値は日本国内での認証が完了次第発表します）

小形軽量化された 8 速ティプトロニックと quattro システムのドライブトレイン

トランスミッションは全モデル、フリーホイールリング機能を採用した新開発の 8 速ティプトロニックを採用。燃費効率改善のために、新型 Audi Q7 全モデルに、スタートストップシステムと、ブレーキエネルギー回生システムを標準装着しました。全モデルが標準採用する quattro フルタイム 4 輪駆動システムは、メカニズムの根幹ともいえるセルフロックセンターディファレンシャルを 8 速ティプトロニックのハウジングと一体化させる設計にして、大胆な小型軽量化を図っています。通常時は、40：60 とトルクを非対称に前後配分。路面状況によってトルク配分を前 70：後 30～前 15：後 85 のあいだでダイナミックに変化させることでトラクションと回頭性を両立しています。

さらに大幅に改善された走行安定性と乗り心地

サスペンションは、前後とも従来型のダブルウィッシュボーンに代わって 5 リンクのシステムを採用。エンジン搭載位置の変更などにより従来型に対し 50mm も低くなった重心点、バネ下重量を大幅に減らした新しいサスペンションシステム、さらに「アダプティブエアサスペンション」や「4 輪ステアシステム」などの先進テクノロジーにより、初代の時代から定評のあった走行安定性と乗り心地がさらに大幅に改善されています。最大 245mm の大きなグラウンドクリアランスと長いサスペンションストロークを活かして、過酷なオフロードも苦にしません。

充実した安全のためのアシスタンスシステム

安全のためのアシスタンスシステムの充実ぶりは、新型 Audi Q7 の最大の売り物のひとつです。追突の危険を減らす自動ブレーキを含めた「アウディプレセンス シティ」、衝突の危険を察知して前席シートベルトのテンションを高めるなどして衝撃に備える「アウディプレセンス ベーシック」、ドライバーの車線維持を助ける「アウディアクティブレーンアシスト」、渋滞時にドライバーの負担を減らすトラフィックジャム（渋滞）アシスト機能を備えた「アダプティブクルーズコントロール」、駐車時のステアリング操作を助ける「パークアシスト」といったシステムを全モデル標準装備としたほか、車線変更をサポートする「アウディサイドアシスト」や、後方からの衝突に対して乗員保護能力を高める「アウディプレセンス リヤ」などのシステムをオプション設定しています。

Euro NCAP のテストで 5 つ星の最高評価

また、エアバッグは前席前面、前席サイド及び前後席をカバーするカーテンエアバッグの合計 8 つを標準装備し、「後席サイドエアバッグ」をオプションで追加できるようにしました。軽量設計のボディは、衝突時の安全性、乗員保護といった面でも卓越した資質が証明されており、新型 Audi Q7 は Euro NCAP のテストで、5 つ星の最高評価を獲得しています。

最新世代のオーディ MMI と新開発の Audi バーチャルコックピット

車載された数多くの便利で革新的なシステムは、指での文字入力もできる大型タッチパッドを備えた最新世代のオーディ MMI により、簡単な操作で一元的にコントロールできる仕組みになっています。また、上級の 3.0 TFSI quattro モデルには、これまでのメーターパネルの代わりに鮮明で精密なグラフィックを提供する 12.3 インチの TFT ディスプレイを採用した新開発の「Audi バーチャルコックピット」を標準で搭載しました（2.0 TFSI quattro にもオプション設定）。

最新にして最高峰のインフォテイメントシステムと Audi connect

全モデルに標準搭載される最新にして最高峰のインフォテイメントシステム、「MMI ナビゲーションプラス」には、AM/FM ラジオ、CD プレーヤー、ナビゲーションのほか、MP3/WMA 再生、Bluetooth オーディオ／ハンズフリーフォン、iPod/iPhone 再生などの機能が備わります。さらにオーディが独自開発した Audi connect により、乗員のための Wi-Fi ホットスポットが提供され、各社スマートフォンとの接続も可能になっています。

＊欧州仕様車測定値

新型 Audi Q7 主要諸元

	Audi Q7 2.0 TFSI quattro	Audi Q7 3.0 TFSI quattro
全長	5,070mm	5,070mm
全幅	1,970mm	1,970mm
全高	1,735mm	1,735mm
総排気量	1,984cc	2,994cc
最高出力	185kW(252PS)/5,000-6,000rpm	245kW(333PS)/5,500-6,500rpm
最大トルク	370Nm/1,600-4,500rpm	440Nm/2,900-5,300rpm
駆動方式	フルタイム 4WD	フルタイム 4WD
トランスミッション	8 速ティプトロニック	8 速ティプトロニック

(社内参考値)